ユーカリが丘 NEWS わがまち 第30号
2005.11.26発行

～佐倉市ユーカリが丘の地で～『ヘルスプロモーション国際シンポジウムinさくら』が開催

ユーカリが丘で初の国際シンポジウム開催「健康創造」のまちづくりをめざして

イローナ・キックブッシュ博士

「ヘルスプロモーション国際シンポジウムinさくら」が10月22日・23日の両日、佐倉市ユーカリが丘のウィシュトンホテル・ユーカリで開催されました。

このシンポジウムには、WHO（国際保健機関）が1986年に「オタワ憲章」において提唱した、新しい健康観に基づく21世紀の健康戦略であり、当シンポジウムのテーマとした「ヘルスプロモーション」概念の生みの親の米国エール大学医学部イローナ・キックブッシュ博士が基調講演者として招聘されました。キックブッシュ博士によれば「ヘルスプロモーション」とは、「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と定義され、役割は、健康的な組織やコミュニティを開発するところにあり、Well－being（生きがい）を高めること、そのために必要な個人やコミュニティの本来持っている力を高めることにあるとしています。

今日、人々が「幸せ」と「生きがい」を等しく享受するためには、何よりも健康であることが大事であり、健康寿命をいかに延伸できるかが問われている時でもあることから、極めて時宜を得たテーマでもあり、またこれからの「ヘルスプロモーション」の重要性が叫ばれていることを反映したシンポジウムの内容となりました。

主催は、順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センター〔WHO指定研究協力機関〕、共催佐倉市により開催され、後援には厚生労働省・千葉県をはじめ、行政官庁及び各関係機関が参加されました。

2日間のプログラムは、堂本暁子千葉県知事の歓迎挨拶・梅田勝厚生労働省大臣官房参事官の開催祝辞があり、懇親会では、主催者代表 小川秀興順天堂大学理事長・学長のレセプション挨拶がありました。シンポジウムは、亀井美登里千葉県健康福祉部理事・鄭恵美国立台湾師範大学教授・田城孝雄順天堂大学公衆衛生学講師・高村美奈子順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センターコーディネーターの専門分野の皆様方による熱心な討議が行なわれました。また、全国各地から参加された行政及び健康なまちづくりを進めている団体の皆様からの活動報告等が行われ、ユーカリが丘からは、ユーカリが丘地区社会福祉協議会の坪松康隆会長から活動内容について報告があり、その活動振りに大きな賛意が示されました。また、渡貫博孝佐倉市長は開会の挨拶、その後シンポジストとしても参加されました。

小川秀興順天堂大学理事長・学長

そして、「ヘルスプロモーション」を日本に紹介し、その唱道に邁進されている島内憲夫順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センター所長は終始座長として軽妙に議事を進められました。

そして、総括の意味も込めて、「激動するグローバルな社会の中で、私たちが為さねばならないのは、<コミュニティエンパワーメント>を高めていく努力ではないか」「この佐倉・ユーカリが丘をスタートとして、市民自らによる、日本的ヘルスプロモーション活動が世界に飛び出すことを祈念する」"地球サイズの愛をもって、今できることから始めよう!"と決意が述べられ、2日間の有意義な国際シンポジウムの幕が降ろされました。

渡貫佐倉市長 開会の挨拶他

「佐倉は、歴史と自然のある農村部と印旛沼、また一方でこのユーカリが丘のように近代的な街と変化のある素晴らしいところ」「健康という価値を一人ひとりの市民が手にしていただくには、健康に関するものの考え方を変える必要がある。意識を変えていく必要があり、意識が変われば考え方が変わる。そして行動に表れる」「健康さくら21により市民が主役、みんなが創る健やかまちづくりを推進する。ヘルスプロモーション・リサーチ・センターを中心にますます活躍してほしい。これからは市民の健康は、行政がしっかりと責任を持てるようにしていきたい」と述べられました。

堂本千葉県知事 歓迎挨拶

「イローナ博士をお迎えできて本当に嬉しく思う」「health for all」の38の目的のうち、37番目（『すべての人々に健康を』を支援するための他の分野における職員の教育）については、目から鱗が落ちるような思いである。国家のあらゆる政策を健康の視点から考えることが大切で、労働・教育・開発・都市計画など、ユーカリが丘が健康づくりの視点からも街づくりが進められていると思うが、全部の政策をこの視点から作り上げることが必要」「一人ひとりが生まれてから死ぬまで、人生を豊かに、幸福で有意義にその人らしく生きるためには、健康がなによりも大事と思う。そのことを世界中の人々に伝えるため、WHOで努力してこられたイローナ博士の話を自分のこととして聞くだけでなく広めてほしい」と述べられました。

梅田厚生労働省大臣官房参事官 祝辞

「これまでは、お上が国民を指導し、病気にならないようにという昔の考え方があったが、これからは「ヘルスプロモーション」の思想のように、国民自身が健康について考え、意識を持って皆で進めていくことが大切である。」「身体に良いこと・健康づくりは楽しいこと、また気持ちの良いことと発想を変える必要がある。」「各々の地域にあった健康づくり・街づくりが必要。歴史のある佐倉の中にユーカリが丘という健康で安心して生活できる新しい街づくりが進められているが、ヘルスプロモーションという考え方で次の世代のために素晴らしい街づくりを進めてほしい。そして、それを全国に発信していただきたい」と述べられました。

撮影　本田　基令（宮ノ台4丁目）

青菅小学校創立二十周年記念式典が開かれました

青菅小20周年おめでとう

二〇〇五年六月十一日に青菅小学校において記念式典が開催されました。渡貫博孝佐倉市長、高宮良、教育長、歴代校長ほか多数の来賓ならびに保護者や卒業生の参加があり盛大な式典となりました。第一部の式典では大澤昭夫校長先生の式辞、来賓の祝辞、記念品贈呈などがありました。さらに記念行事として、第二部はビデオ上映（青菅小学校の年間）、第三部は児童の発表（歌など）、第四部は音楽鑑賞会（アカペラ　AJIコンサート）があり思い出に残る一日となりました。青菅小学校創立当時の生徒数は一七三名（六学級）でしたが八年後五三一名（十六学級）をピークに、十年後五六名（十六学級）以後年々減少して現在（二〇〇五年）は二三二名（八学級）になっているそうです。自然環境にも恵まれ、先生・保護者・地域の方々が力を合わせて教育活動に取り組んでおられるそうです。なお、創立二十周年記念誌のサブタイトルに「輝く未来へ」と書いてありました。

わがまちに文化の香りを～ユーカリ悠友大学開講～

ユーカリ悠友大学開校式

志津コミュニティーセンターに於いて

二〇〇五年十月二日（日）に、発起人十七名の方々によるユーカリ悠友大学が開講しました。事務局の吉田劭氏から設立の経緯と趣旨が説明されました。市原市のNPO法人「青葉台さわやかネットワーク」がモデルです。安心、楽しさ、学習、をモットーに学習と交流を通して自然と歴史を大切にした文化の香りのするユーカリの街づくりに参画していくのが目的です。前期・後期があり、来年の一月までのカリキュラムが提示され、歴史から防犯、保健のことと多岐に渡っていました。学生登録をする方とそのつど参加する聴講生のどちらかを選択するのですが、この日は第一回とあって会場は満員で熱気にあふれていました。

一回目の記念講演は悠友大学の学長で彫刻家の久保浩（こう）氏の「言葉と文字について」のお話でした。

美術家の久保氏がなぜ言語なのか不思議に思いながら拝聴していましたが、文字のもつ意味、成り立ちなどを聞くうちに文字のもつ魅力に惹かれていった先生のお気持ちが良く分かりました。「日本人独特のきめ細かさが失われて妙な使い方がされている日本語を正しくしていきたい。」と話を結ばれました。後から後から色々なお話があり先生の造詣の深さを知り、知れば知るほど分からない事が増えてくるという先生の探究心には驚くとともに感服しました。

＊お問い合わせ先
事務局　吉田　劭
☎&FAX 462―一〇五二

盲導犬育成チャリティゴルフ大会

チャリティ募金の贈呈式

二〇〇五年九月十二日、ユーカリが丘地区商店会連合会主催で習志野カントリークラブクイーンコースにて「第五回盲導犬育成のためのチャリティゴルフ大会」が開催されました。当日は一九二名の参加者があり大盛況でした。

今大会で集まったチャリティ金と日頃商店会会員店舗においてある募金箱を合わせて七十五万八千九十三円が財団法人日本盲導犬協会に贈呈されました。

「エッセイを書こう！会」が会報を九月に発行

「わがまち」で度々ご紹介している、和洋女子大学セミナーハウスで行われる公開講座の中で、「エッセイを書く」の受講生の有志が集まって作った「エッセイを書こう！会」の皆さんが手作りの小冊子「ゆうかり」を創刊した。講師の小川和彦先生を顧問に向かえ志津コミュニティセンターで昨年四月に発足したとのこと。一年半の学習の成果をまとめられました。

十名の方々の作品を拝見し、それぞれの視点で様々なものを表現されているところが素晴らしいと感じました。今後の益々のご発展を祈念しております。

◆わがまちの人口

住所	世帯数(戸)(前回比)	人口(人)(前回比)
ユーカリが丘1丁目	726 (+3)	2,047 (-29)
ユーカリが丘2丁目	472 (+1)	1,376 (-27)
ユーカリが丘3丁目	146 (+3)	432 (-2)
ユーカリが丘4丁目	877 (+1)	2,266 (-11)
ユーカリが丘5丁目	394 (-6)	1,048 (-15)
ユーカリが丘6丁目	188 (-5)	549 (-21)
ユーカリが丘7丁目	339 (-1)	1,064 (+1)
宮ノ台1丁目	360 (-1)	1,024 (0)
宮ノ台2丁目	421 (+3)	1,218 (+10)
宮ノ台3丁目	168 (+3)	506 (-2)
宮ノ台4丁目	310 (-1)	955 (-17)
宮ノ台5丁目	205 (+2)	655 (+8)
南ユーカリが丘	681 (+148)	1,598 (+292)
計	5,287(+150)	14,551(+187)

平成17年10月末現在・佐倉市役所調べ

秋祭り

小竹四社大神の御輿

上座熊野神社祭礼（写真提供：地域新聞）

わがまち発行30号記念新コーナー

『ユーカリ知っ得情報局』開局！

わがまち第28号で「ユーカリが丘ハッピーサークルシステム」について紹介しました。安心住み替えシステムは既に運用が進められており、活用実績が上がってきているとのこと。その他のソフトサービスに関するシステム構築については、WHO指定協力機関・ヘルスプロモーション・リサーチセンター・ユーカリが丘支局との連携や腕時計型健康センサーの実証実験等を通じて日々検討が進められている状況とのことであり、今後の発表が期待されるところです。また、ユーカリが丘初の在宅医療機関「曙ユーカリが丘クリニック」が十一月一日、駅南口にオープンしたことによって在宅ケア体制も着実に整備されているようです。

さて、今後のハッピーサークルシステムの更なる展開を期待しながらも、日々のユーカリが丘ハッピーサークルライフを満喫するために、わがまち第30号発行を記念して新コーナー「いざというときもあわてない、困らない・・・『ユーカリ知っ得情報局』」をシリーズ連載していきます。

日常生活の中で知っとくと便利でお得、恥ずかしい思いをしなくてすむ、また万一の際に知っとくと安心、損をしない情報や知識など、生活に密接に関係してくる冠婚葬祭を基本テーマに、税金や年金、医療・介護をはじめとする各種保険など幅広く取り上げていきたいと思います。詳しく知りたいけど、どう調べていいのかわからない、どこに聞けばいいのかわからないという日常生活の「お悩み二〇番」としてご活用頂ける様なコーナーとして育てていきたいと思います。

今回は新シリーズのコーナーとしての発表の案内が長くなりましたので、どんな内容になるかをちょっとだけご紹介します。ちょっと重たいテーマなのですが、誰もがいつか必ず経験することになる相続について・・・

相続が発生したら、どんな手続きが必要かご存知ですか？

一口に相続といっても、決められた期間にやらないといけないことがたくさんあります。手続きをし忘れた、あるいは面倒なのでしなかったことによる問題やトラブルも多々あります。さっと大まかに挙げて

①必要書類の取り寄せ、準備
②スケジュールの確認、調整
③調査事項の確認、依頼
④相続人関係の調整
⑤諸々の問題解決　等々

それでは、相続手続きを進める上で知っておくべきポイントがいくつかあるので確認しておきましょう。

一、遺言書があるかどうかを確認する

民法では法定相続よりも遺言の方が優先すると決められています。「中を見てみたい」と思っても勝手に封を切ってはいけません。遺言書を見つけた人か保管していた人が家庭裁判所に持っていって「検認」（遺言書のあるがままの状態を確認。保存する手続き）が必要です。

と、このような感じで進めていくシリーズとしていきたいと思います。もちろんもっと肉付けはしていきます。例えば、今回の内容についても、「じゃあ遺言書の作り方って？？」という疑問もでてくると思います。次回からの『知っ得情報局』を乞うご期待（皆様からのご希望もお待ちします）・・・

＊お問い合せ先
みずほ信託銀行　津田沼支店
船橋市前原西二―十四―一
☎〇四七―四七八―三三八一
◎ご相談担当／泥谷（ひじや）、糸久（いとひさ）

なんでも相談コーナー

●水まわりのSOS！

本格的な冬の到来を前に、家のまわりをもう一度点検してみてください。

蛇口を閉めても水がポタポタ落ちてくる・浴室やトイレの流れがよくない等水まわりでお悩みの方は、光陽㈱管工事部へ。水漏れ修理や排水管の洗浄、リフレッシュ工事など専門のスタッフが親切・丁寧・迅速に対応します。

＊お問い合せ先
ユーカリが丘インフォメーションセンター内　光陽㈱まで
☎462―九七五一

新規店舗オープン情報

プレシオ・南ユーカリが丘内	千葉銀行	ケンタッキーフライドチキン	日本海庄や	今日和イタリアンデリ（イタリアンカフェ）	輸入雑貨・アクセサリー	ファッション・雑貨	家具・インテリア
曙ユーカリが丘クリニック	ユーカリが丘支店	ジョイナード	ユーカリが丘南口店	KONNICHIWA Italian DELI	RAISE★R（レイズ）	PRIDE&JOY	フローレンス家具館
☎460-6666 南ユーカリが丘2―1	☎461-8111 ユーカリが丘3―1―7	☎460-9548	☎463-6831 ステーションタワー2F	☎460-2110 ステーションタワー2F	☎462-7058 ユーカリプラザ1F	☎460-7150 ユーカリプラザ1F	☎462-6262 ユーカリプラザ1F
11／1（火）オープン	11／21（月）移転オープン	営業中	営業中	営業中	11／4（金）オープン	10／28（金）オープン	10／15（土）オープン
営業時間／9:00～12:00・13:00～15:00 定休日／土・日・祭日 訪問診療・訪問看護・訪問服薬指導等を行っています。	窓口／9:00～15:00土日祭休 ATM／月～土曜・祭日8:00～21:00 日曜8:00～19:00	営業時間／10:00～22:00 定休日／なし 新しいカフェスタイルのお店です。手作りのおいしさをお楽しみ下さい。◎禁煙席・駐車場あり	営業時間／17:00～翌4:00 定休日／なし 新鮮な魚貝料理を中心に手作り料理でおもてなししております。	営業時間／11:00～22:00 定休日／なし パスタの有名店「今日和」の新しいお店がオープン！窯で上げ生パスタやピザ、ケーキなど、本格イタリアンの味が楽しめます。	営業時間／10:00～21:00 定休日／なし 島村楽器豊四季にあるRAISE★Rがユーブラ1Fに姉妹店をオープン！シルバーアクセサリーやお洒落な雑貨が揃っています。	営業時間／10:00～21:00 定休日／なし 輸入品の洋服やアクセサリー・雑貨をはじめ、プリザーブドフラワーを使った素敵なデコレーションも多数取り揃えたセレクトショップです。	営業時間／10:00～21:00 定休日／なし ユーカリプラザ2Fのフローレンスが1Fに家具館をオープン！輸入家具を中心に、素敵なインテリアも多数揃っています。

ユーカリフェスタ2005

ユーカリハロウィン 今年も大盛況！

恒例となりましたユーカリフェスタが今年も前夜祭10月22日（土）、本祭23日（日）に行われました。前夜祭は朝からあいにくの雨模様でしたが、イベントが始まるころには雨も上がり、大勢の家族がかぼちゃのちょうちんづくりとバンブー楽器づくりに参加しました。夜には幻想的なキャンドルウェディングとかぼちゃのちょうちんへの点灯式、バンブー楽器の演奏等で盛り上がりました。

翌日は秋晴れとなり、今年初めて全てのプログラムが屋外で行われました。「サクラコレクション」、思い思いの仮装で参加した「ハロウィンパレード」、おなじみの櫻太鼓や志津小学校児童のブラスバンド演奏、フラダンスや少林寺拳法の演舞、模擬店などに延べ2日間で約5万8千人の人で賑わいました。

同時開催の「防災フェアinさくら」、「歯っぴーかみんぐフェア」もおおいに盛り上がりました。

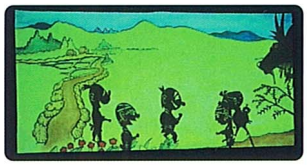
サクラコレクションの舞台裏

ユーカリフェスタ2005で10月23日に行われたサクラコレクションの舞台裏をのぞいてみました。学生部門で4回目の出場となる千葉県立佐倉東高等学校服飾デザイン科3年生の皆さんは総勢34名の大所帯。作品は和裁、洋裁両コースの生徒さん達が3年間で作り上げたもの。浴衣に始まり振袖まで、普段着からスーツ、フォーマル、ウェディングドレスまで約百点にものぼる作品を、一人平均3～4着着替えねばならず、着替え時間が僅か1分という場合もあり、舞台裏は大忙し。同校では学園祭を含めて、年4～5回ファッション・ショーを行うそうで、舞台上での発表には少し慣れてきたとのこと。斉藤広子先生のご指導のもと、3年生全員が協力して作品の発表の場を作り上げているという印象でした。

同じく学生部門出場の和洋女子大学、"アース・スペース"はファッション・ショーを企画・運営するサークルで発足5年目。今回は同サークルの1・2年生で27点の作品を発表。着替えが無いので、舞台裏の混乱はそれ程ではない様子。11月5・6日の大学祭、里見祭でも同じものを発表した。学園外で作品発表の機会が得られるということは、生徒達・学生達にとって大きな励みになるとともに、鑑賞する側も大変楽しみな催しであると言えるでしょう。

サークル・クラブ紹介

影絵塾9



城南幼稚園（佐倉市宮前）で次回公演に向けて練習に夢中。男性が多い会（会員二十三名のうち十三名が男性）。機材の搬入・搬出や舞台づくりは力仕事。手馴れた作業とはいえ細かい手順。平均年齢六十？歳とは思えないハツラツ・テキパキ。

立派な舞台は仕上がった。

いよいよ、電灯のスイッチオン。当地の民話「雨を降らせた竜神」のリハーサルが始まった。語り（ナレーション）に合わせ人形などを持った人が、入れ替わり立ち替わりスクリーンの裏で躍動している。人形と人が一体である。まさにミュージカルだ。大人が見てもオモシロイ。わかりやすい。これまでの影絵とはどこか違う。ビデオ投映による背景に黒一色の影絵は新鮮である。ビデオ投映（カラフル、スピード）と人手で操る人形など（影絵、黒色のシンプルな動き）がうまく調和して、映画と紙芝居の合体だ。

リハーサルが一通り終わって吉岡会長に伺った。「三年前に市民カレッジ卒業生仲間が保育園でやったら園児が大変喜んだのが動機。主な活動は月一回程度、幼稚園や子供会などで公演。演題は千葉県の民謡が中心。脚本（演題）に合わせて人形を手作りするのは苦労するが、子供たちが喜ぶ顔を思うと止められない。また、スクリーンをはじめ影絵に使う機材は全て手作りですが、会員ひとり一人が力を合わせて楽しさを共有出来る事の幸せは最高です」とのこと。

＊お問い合せ先
吉岡英武
☎462―五五五二

スクリーン裏の熱演風景

アクションクルー宮ノ台

宮ノ台地区で活発に活動するアクションクルー宮ノ台（ACM）は、発足して二年、ブルーの帽子とブルゾンに身をつつみ颯爽とパトロールをするボランティアグループです。

宮ノ台地区は、大通り以外では人通りが絶える時間帯があり、活動を開始した二年前には空き巣が発生していました。そこで「自分たちの街は自分たちで守ろう！」と有志で始め、すでに延べ二百四十回以上になります。

パトロール中に行き交う住民の方々と明るく挨拶を交わすことで近所との連帯を深め、青葉小の生け垣を年二回ACMメンバーで刈り上げ見通しを良くし、併せて小学生の成長ぶりを温かく見守りつつ世代間交流をしています。

同行させていただいたパトロールの途中に小休止した公園では、どんぐりの実に秋を感じながら幼い頃に作ったヤジロベーやコマの作り方を語り合いながら、メンバーの親睦を図っていました。

最近では、クライネスサービスや他の防犯グループと情報を共有する防犯会議にも参加しています。

歩くことは健康に良く、家族も協力的で、なによりも街の様子や変化がよくわかるそうです。

ACMは単体組織で、自費で参加でき、和気あいあいとしたボランティアグループです。

＊お問い合せ先
末光啓吾
☎462―五六六八

パトロール中

まちのわだい

カット　松瀬　彩華（井野中3年）

頑固おやじ

お上より「外食産業において料理食材の原産地を表示すること」と、お達しがありました。

国名・なに州産を明記すること。では、どの国の食材がよく、どの国の食材が悪いのか、消費者に判断ができますか？とくに海産物は分かりずらいと思う。

先日来、北朝鮮のアサリにしても中国産として輸入されていたではないか。ハングル文字の紙切れが混入していたから判明したが、紙切れがなければ中国産として流通したでしょう。

たとえば「国名を十ヶ国列記せよ」と出題された場合、はたしてどれだけの人が書けますか？

ゴルフで後半の人生イキイキ 11

危険・事故防止　その1

乗用カート使用のゴルフ場が多くなってきました。ほとんどが軌道式の自動運転ですが、なかには自分で運転する場合もあります。特に自分で運転するとき、下り坂、急カーブに注意してください。乗用カートには二人、四人、五人乗りとありますが、一組に二人乗りカート一台しか貸してもらえない場合があります。

あるゴルフ場で二人乗りに三人で乗り込みルンルン気分で走っていましたが、急カーブを過ぎると一人居なくなっていたので、止めてみると後方に寝転がっていました。

本人曰く「おれは柔道の受身を会得しているので大丈夫」と誇らしげに言っていましたが、本当は一瞬脳しんとうを起こしたそうです。怪我もなく無事でなによりでした。

そこで二言「ボールはラフで、なんで体はフェアウエイにあるの？」

その2

先日、ゴルフ仲間のある女性に出会いました。顔を見ると目じりに絆創膏を張っているので聞けば、「ボールが当たったの」と、平然と語っていましたが、医者の説明では、もう少しズレていたら大変だったそうです。目であれば【失明】、コメカミであれば【命】に係わったそうです。

状況はティーグランドで打者の正面にいたとき、クラブの先端に当たったボールが真横にきたので避けることも出来なかったようです。

このような状況は多々有りがちです。最近、次打者が打つ前にスタスタと歩きだす人、また前方で待っている人がいますが、事故防止のためにも充分気をつけてください。

事故あれば楽しいゴルフも後味の悪いゴルフとなります。

ユーカリが丘地区にはどんな「自主防犯グループ」があるのかご存知ですか

二〇〇五年八月二十五日第一回ユーカリが丘地区で防犯パトロールを行っている六グループの代表者がクライネス本部会議室に集まり情報交換会が行われました。

それぞれのグループから活動内容の報告があったあと、活発な意見・情報交換がありました。

今後も隔月毎に情報交換会を実施し、行政（市役所、警察など）と連係して地域の防犯活動を推進していくことで一致しました。

ユーカリが丘地区の「自主防犯グループ」

○ユーカリが丘一丁目自治会
　みずき会防犯部会
○ユーカリが丘六丁目自治会
　パトロール班
○ワイ・エム・メンテナンス㈱
○上座防犯パトロール
○アクション・クルー宮ノ台
○クライネスサービス

あなたも参加してみませんか？

第一回自主防犯グループ情報交換会

NPO法人クライネスサービスが全国防犯安全協会で表彰受賞

～歓びの声を　新会長　岡野重秋さんに聞く～

二〇〇五年十月六日、東京の明治記念館で開催された「全国地域安全運動中央大会」（主催／財団法人全国防犯協会連合会・警察庁）でNPO団体『クライネスサービス』が「防犯ボランティア団体」として表彰されました。

今年五月から、クライネスサービスの新会長になられた岡野重秋さんにお話を伺いました。

今回受賞された感想は、「大変光栄なことと思っています。同時に身の引き締まる思いです。当日は全国から多くの個人、団体が集まり表彰を受けました。

今回受賞した防犯ボランティア団体は全国で三十団体が選ばれ、クライネスサービスは、青色回転灯装備車両を活用し、昼夜防犯活動を行い、また清掃や環境美化活動にも積極的に取り組み、防犯意識の高揚に成果を挙げていることが評価されたものです。この受賞に恥じない活動を今後も行っていきます」とのこと。

今後の抱負をお聞かせください。

「私は発足と同時にこの会の会員となり活動をしてきました。初代会長の坪松康隆さんの下、環境部会長として花いっぱい運動を主に推進してきました。昨年NPO法人（特定非営利活動法人）資格の認証を受けた後の会長就任ということで、戸惑いもありますが、なんとか走り出しました。最近はマスコミの取材や各地からの見学・講演依頼等もあり、他の役員と協力し合って対応をしておりますが、そういった時には大変緊張感を感じます。

また、こういった活動は楽しみながら活動そのものを好きにならないと長続きしません。無理せずできるところから始めて活動の機会を増やしていくようにしたいと思っています。将来的には何人か集まれば、ランダムにパトロールを行うようなことも検討しています。

地域のリーダーシップを取っていく団体として今後も地域社会の安全・安心に少しでも寄与し犯罪防止に貢献していきたいと考えております。」

これからも地域防犯活動の中心としてさらなる発展が期待されます。

＊入会等のお問い合わせ
クライネスサービス事務局
☎463－一三三七

左から岩井副会長、岡野会長、薄事務局長

第1回 開局記念 ハッピネスライフデザインセミナー

島内憲夫所長と高村美奈子コーディネーター

二〇〇五年九月十日、WHO指定研究協力機関、順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センターユーカリが丘支局主催による、第一回セミナーがウイシュトンホテルユーカリに於いて開かれました。定員三百名の会場は全席ほぼ埋め尽くされ、健康とともに同センターへの関心の高さが伺われました。

今回のセミナーのテーマは、「新しい健康づくりをめざして」と言うもの。同センターユーカリが丘支局長の氏原強氏による開会挨拶の後、二つの講演と福祉、健康、介護等に関する相談説明会が行われました。最初の講演は、「新しい健康づくり」と題され、WHO指定研究協力センター所長、島内憲夫、同センターコーディネイター、高村美奈子両氏により、ヘルスプロモーションの意味、同センターの役割等がわかり易く説明され、人が生まれてその生涯を終えるまで健康で幸福な日々を送れるような生活習慣づくり、社会づくりを提唱されました。次に、千葉大学工学部デザイン工学科助教授の中山茂樹氏による「健康とまちづくりデザイン」と題された講演では、健康の概念の変遷をたどり、日常生活のなかで健康を維持し増進していくために必要とされる、地域の役割の大きさ、関わりの深さについての内容に出席者の多くが一段と関心を深めたようでした。

講演終了後は、用意されたお茶とお菓子を楽しみながら地域で活動するグループの活動紹介、新しい健康促進器具の紹介等が行われ、あっという間に第一回セミナーの終了時間となりました。

誰でも、生健康でありたいと思うものです。不幸にも病気や怪我に見舞われた際に適切な治療を受けられ、心身とも十分なケアがなされ、その後幸福な日常生活が送れるよう、地域ぐるみで支えあい、考えて行こうという、今回のセミナーの趣旨も大変よく理解できました。今回参加された方々は、やや年齢層が高いように思われましたが、次回はより幅広い層の方々が参加され、関心と理解が深まればと期待されます。

＊お問合せ先
順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センターユーカリが丘支局
☎489－九〇九一
FAX 489－九〇九三
E-mail
juwho-happyukari@catv296.ne.jp

■健康住宅

ハッピネスライフデザインセミナーに引き続き、関係施設の見学会も行われた。その中でも「健康住宅」が人気を集めた。

「健康住宅」とは、順天堂大学WHO指定協力センターユーカリが丘支局、山万㈱、ワイ・エム・メンテナンス㈱など山万グループ、家電メーカーや住宅建材メーカーがプロジェクトチームを結成。ヘルスプロモーションの考え方をコンセプトにした住宅で、「快適な暮らし」「心身を健康に保つ住まい」「安全・安心な住まい」を実現しています。

心とからだのストレス軽減のため、誰でも使いやすい・わかりやすい、ユニバーサルデザインを取り入れ、テレビや携帯電話で様々な家電製品をコントロールする最新技術や身体動作に優しいデザイン、壁や床・建具などに健康素材を使用するなどしています。

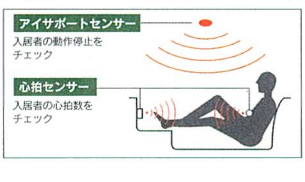
また、リラックス&メディカルチェックを毎日の習慣とするため、睡眠科学から生まれたリラクゼーションルームやエステ効果の得られる浴室、家族で利用できるファミリーライブラリー、フィジカルトレーニングのできるトリムコーナー、陶芸などもできる土間のある和室などを提案しています。

さらに万一のトラブルを未然に防ぐために、二十四時間巡回警備を行うワイ・エム・セキュリティで対応したり、携帯電話やテレビ・パソコンなどを使ったホームセキュリティも装備。外出先からでも家の中を確認することができます。また、アイサポートセンサーや心拍センサーを浴室に装備したり、緊急ボタンや、人感センサー付照明なども設置しています。

何はともあれぜひ一度見学されることをお勧めします。

＊お問合せ先
山万㈱住宅事業部
☎〇一二〇－八八九－二二六

入眠～睡眠モード時の寝室



浴室にはアイサポートセンサー・心拍センサーも

京成ユーカリが丘駅に通常特急の停車を実現させましょう。

特急停車推進委員会

子供の好きな方 保育士募集！

人気の駅前保育所「ハローキッズ」。明るく元気な子供たちがいっぱい。子供が大好きな方はぜひ一緒に働いてみませんか。

働く女性をサポートして少子高齢化に少しでも歯止めをかけましょう。

＊お問合せ先
チャイルドハウスハローキッズ
☎488－三一三〇

編集・発行／わがまち編集委員会　〒285-0859 佐倉市南ユーカリが丘1番地1　TEL 043-487-8111(代)　FAX 043-487-8116　発行月／5・11月（担当／清水）